

一 般 質 問 通 告 書

令和5年第1回定例会 No. 1

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
1	南 有 隆	1 D X(デジタルトランスフォーメーション)の活用や取り組みについて	(1) デジタル技術の活用により、地域の個性を生かしながら活性化し持続可能な社会を目指す「デジタル田園都市国家構想」を国は推進しているが与論町は今後どのようにD X(デジタルトランスフォーメーション)を活用し地域や暮らしに取り組む考えがあるのか伺います。 (2) 教育現場でも情報活用能力対策のD X教育や情報社会に対応するためにネットリテラシー教育が必要だと考えるがどのように学習させ指導し課題解決や目的達成に利用させようと考えているのか伺います。	町 長 教 育 長
		2 マイナンバーカードの利用・登録・促進について	(1) マイナンバーカードが様々な場所で使用出来るようになってきている。今後マイナンバーカードの登録やマイナンバーカードを使用した地域サービスを充実させる考えはないのか伺います。	町 長
2	沖 野 一 雄	1 町長公約の中で、未達成課題への今後の取り組みについて	(1) 町長の重要公約の１つ、空港及び港湾の改善整備については現在、議会と行政の連携により明るい兆しはあるものの、具体的道筋は未だ見えていない。町民のコンセンサスを含む今後のロードマップの進め方など、どのようにリーダーシップを執って取り組んでいかれるのか、ご所見を伺いたい。	町 長
			(2) 公約の「人口減少対策」の柱として、I・Uターン者の雇用対策と住宅整備等による若者の定住支援を掲げておられたが、その進捗評価と残された任期中における公約達成の見通し等について伺いたい。	町 長
			(3) 公約の「産業の振興」の中で、①堆肥センター活用による産業振興、②養殖研究や加工、流通体制の改善による水産業振興の２つについて、それぞれの進捗評価と任期中の達成見通し等について伺いたい。	町 長

一 般 質 問 通 告 書

令和5年第1回定例会 No. 2

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
3	林 敏 治	1 大規模災害に備えた訓練及びシェルター・備蓄倉庫の整備について	(1) 本町においては、陸上自衛隊国分駐屯地第12普通科連隊による町内約18kmの徒歩訓練が行われた。改めて自衛隊の訓練活動は、国民の生命と財産を守る上で大変重要であると痛感した。今後、大規模災害に備えた訓練やシェルター(避難施設)、備蓄倉庫などを整備して危機管理体制の強化を図る考えはないか。	町 長
		2 自衛隊の宿舍やヘリポート新設について	(1) 自衛隊の派遣による防災訓練ができる宿舍や、自衛隊ヘリの救急搬送態勢が構築できるようヘリポートの新設をする考えはないか。	町 長
		3 沖縄北部地域連携による交流人口拡充について	(1) 昨年、与論町は国頭村と祖国復帰50周年記念事業の共同開催をはじめ、姉妹都市盟約を締結して相互融和と親善の礎とすることを宣言した。今後さらなる沖縄北部、やんばる地域と連携を強化して、産業、文化、教育など交流人口の拡充を図るため、対策を講じる考えはないか。	町 長
4	原 栄 徳	1 深刻化している人材不足問題と人材育成について	(1) 本町における行政、企業、事業所等の人手不足は今後益々深刻化し、島の経済発展に大きな影響を及ぼすと思われるが、町としてどのように認識しているか、また、町としての対応や対策を伺いたい。 (2) 島内のあらゆる職場において必要な人材が不足し有資格者も高齢化し新たな人材確保も難しい状況にあり、また、個々の事業所や職場においての人材育成にはかなりの無理がある。与論町として人材育成事業を立ち上げ、将来に不安のない持続可能な発展し続ける島づくりを進めていく考えはないか伺いたい。	町 長 町 長
		2 住宅、宿泊施設の環境整備について	(1) 住宅不足、宿泊施設不足の解消が喫緊の課題であり、町独自での建設には限界があると思われる。官民協力体制でのBTO方式の活用や民間協同体との連携による戸建住宅や集合住宅の建設を早急に進めるべきだと思われるが、町としての考えを伺いたい。	町 長

一 般 質 問 通 告 書

令和5年第1回定例会 No. 3

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
5	喜 山 康 三	1 子育て支援等について	(1) 山町政になってから、子育て支援対策等について就学時の医療費、給食費の全額公費負担をはじめ万が一保護者に事があったときのセーフネットとしての施策等を要望してきた。子育て支援に取り組む考えはないか、見解を伺いたい。	町 長
		2 生活道路の交通安全対策事業について	(1) ハレルヤ保育園から県道までの接続道路は急カーブも多く危険性が高いと以前から指摘されている。また、集落内道路で那間、板畑、上畑地区および北ミナタ線の一部が未舗装、路肩崩落、道路からの個人住宅敷地への雨水の流入がある。ガギーヌ農道はアスファルトがめくり危険な状態が続いている。町道、農道問わず危険性の除去、生活道路の基本的な安全、利便性確保がなおざりにされている。安全点検及び取り組みは行われているか、見解を伺いたい。	町 長
		3 人手、人材、労働力確保への対策は	(1) 観光・建設・運輸・サービス産業他全事業所にわたって人手、人材、労働力不足が蔓延化、深刻な状況に陥っている。「特定地域づくり事業協同組合」が発足し、国、県及び町からの補助金等で運用されているようだが、実績、運営状況はどうか。また、当局をはじめ町内事業者との連携等を密に発展、推進する必要があると考えるが、見解を伺いたい。	町 長
6	林 隆 壽	1 買物弱者対策について	(1) 鹿児島県議会正副議長及び政策立案推進検討委員会により塩田知事に対し、「買い物弱者への支援」について、政策提言を行っているが、与論町においても、少なからず買い物弱者は存在するものとする。県議会の政策提言を踏まえて、買い物弱者の実態把握のための調査、現在実施している支援施策の再検討を行い、県と連携した買い物弱者支援体制の構築を図る考えはないか。	町 長
		2 台湾有事及び台風等の大災害時の対策について	(1) 台湾有事や、年々凶暴化している台風襲来に備えた緊急用備蓄倉庫の建設を図る考えはないか。	町 長

一 般 質 問 通 告 書

令和5年第1回定例会 No. 4

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
		3 次期町長選挙について	(1) 2期8年間、与論町に横たわる難しい諸問題に取り組まれ、着実に安心安全な町づくり政策を実行され、新庁舎建設や、数多くの大型事業導入に着手してられました。ついては、次期町長選挙への対応についてお聞かせ下さい。	町 長
7	大 田 英 勝	1 部活動の地域移行について	(1) 昨年6月に行われたスポーツ庁の有識者会議で、公立中学校での部活動の地域移行が提言された。これは、公立中学校における休日の部活動を外部に移行する部活動改革の1つであり、令和5年度から3年間を「改革推進期間」と位置づけ、地域移行への準備が進められることになっている。本町では、この部活動の地域移行をどのように進めて行く考えであるか。 (2) 部活の地域移行を進めるには、部活動指導員の確保や家庭の費用負担増等の課題がある。それ以外にもどのような課題があり、それらをどう解決していくのか。	教 育 長
		2 トウイン浜へ下りる階段の整備について	(1) トウイン浜の階段が台風の高波に壊されてから随分月日経ったが、階段は未だに壊れたままとなっており危ない状況は変わっていない。令和元年6月議会でも整備を要望したが、その際は「施工方法や費用を精査し検討を進める」との答弁だった。事故が起きない内に早期整備が必要だと考えるが、整備への進捗状況はどのようなになっているのか。いつ頃整備する予定か伺いたい。	町 長

一 般 質 問 通 告 書

令和5年第1回定例会 No. 5

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
8	福 地 元 一 郎	1 共同墓地(納骨堂)について	(1) 町長は共同墓地(納骨堂)の建設を推進する考えか伺います。	町 長
		2 光回線設備等の譲渡について	(1) 令和5年4月1日をもって本町が所有する光回線設備等はN T T西日本に譲渡されるが、それ以後、維持管理において本町の負担は一切ないのか伺います。 (2) 海岸線や港に赤外線ライブカメラを設置して、観光や津波警報の避難の際に役立てる考えはないか伺います。	町 長 町 長